**平成２８年度**

**「ポスト「京」で重点的に取り組むべき**

**社会的・科学的課題に関する
アプリケーション開発・研究開発」**

**萌芽的課題**

**応　募　様　式**

*（様式内の斜体部分については、削除して作成してください）*

**（様式１）***（ひとつのサブ課題で構成される場合）*

提案書（ひとつのサブ課題で構成される提案）

|  |  |
| --- | --- |
| 萌芽的課題名 | *（応募要項Ⅰ．３．（３）から応募する萌芽的課題の番号及び課題名を記入してください）* |
| 提案課題名 |  |
| サブ課題の概要 |  |
| 代表機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 研究代表者 | ふ り が な氏　　名 |  | 生年月日 | 西暦 年 月 日（ 歳）※2016年4月1日現在 |
| 　　　　　　　 |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　 　　Fax.　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 事務連絡担当者 | ふ り が な氏　　名 |  |  |
|  |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　 　Fax.　　　　　　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 実施予定期間 | 平成28年　月から平成32年3月まで |
| 経費見込（概算） | 平成28年度　　　　　百万円　　　　　平成29年度　　　　　百万円平成30年度　　　　　百万円　　　　　平成31年度　　　　　百万円総額　　 　　　　　　百万円 |

**（様式１）－別紙１**（*全ての分担機関（サブ課題実施者）を記入してください。）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分担機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 分担内容 |  |
| サブ課題実施者 | ふ り が な氏　　名 |  | 生年月日 | 西暦 年 月 日（ 歳）※2016年4月1日現在 |
| 　　　　　　　 |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　 　　Fax.　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 事務連絡担当者 | ふ り が な氏　　名 |  |  |
|  |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　 　Fax.　　　　　　　　　　　　　 |
| E-mail  |

**（様式１）－別紙２***（全ての協力機関を記入してください。）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 |  |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 |  |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 |  |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 |  |

**（様式２）***（複数のサブ課題で構成される場合）*

提案書（複数のサブ課題で構成される提案）

|  |  |
| --- | --- |
| 萌芽的課題名 | *（応募要項Ⅰ．３．（３）から応募する萌芽的課題の番号及び課題名を記入してください）* |
| 提案課題名 |  |
| 課題の概要 |  |
| サブ課題一覧 | *（以下の様に記載。**・サブ課題名**・サブ課題名**・サブ課題名）* |
| 代表機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 研究代表者 | ふ り が な氏　　名 |  | 生年月日 | 西暦 年 月 日（ 歳）※2016年4月1日現在 |
| 　　　　　　　 |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　 　　Fax.　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 事務連絡担当者 | ふ り が な氏　　名 |  |  |
|  |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　 　Fax.　　　　　　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 実施予定期間 | 平成28年　月から平成32年3月まで |
| 経費見込（概算） | 平成28年度　　　　　百万円　　　　　平成29年度　　　　　百万円平成30年度　　　　　百万円　　　　　平成31年度　　　　　百万円総額　　 　　　　　　百万円 |

**（様式２）－別紙１**（*サブ課題ごとに分担機関（サブ課題責任者）を記入してください。サブ課題責任者の所属が分担機関ではなく代表機関の場合は、表左列の“分担機関”を“代表機関”に修正してください。）*

|  |  |
| --- | --- |
| サブ課題名 |  |
| サブ課題の概要 |  |
| 分担機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 分担内容 |  |
| サブ課題責任者 | ふ り が な氏　　名 |  | 生年月日 | 西暦 年 月 日（ 歳）※2016年4月1日現在 |
| 　　　　　　　 |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　 　　Fax.　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 事務連絡担当者 | ふ り が な氏　　名 |  |  |
|  |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　 　Fax.　　　　　　　　　　　　　 |
| E-mail  |

**（様式２）－別紙２**（*サブ課題ごとに全ての分担機関（サブ課題実施者）を記入してください。）*

|  |  |
| --- | --- |
| サブ課題名 |  |
| 分担機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 分担内容 |  |
| サブ課題実施者 | ふ り が な氏　　名 |  | 生年月日 | 西暦 年 月 日（ 歳）※2016年4月1日現在 |
| 　　　　　　　 |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　 　　Fax.　　　　　　　　 |
| E-mail  |
| 事務連絡担当者 | ふ り が な氏　　名 |  |  |
|  |
| 所属部署名 |  | 役職 |  |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　 　Fax.　　　　　　　　　　　　　 |
| E-mail  |

**（様式２）－別紙３***（全ての協力機関を記入してください。）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 | *（分担内容をサブ課題ごとに記載してください。）* |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 | *（分担内容をサブ課題ごとに記載してください。）* |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 | *（分担内容をサブ課題ごとに記載してください。）* |
| 協力機関 | 機関名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 協力内容 | *（分担内容をサブ課題ごとに記載してください。）* |

**（様式３）**

実施計画（ひとつのサブ課題で構成される提案）

|  |
| --- |
| 1. 実施内容
 |
| 萌芽的課題：*（萌芽的課題の番号及び課題名を記入してください。）* |
| 提案課題名：*（提案課題名を記入してください。）* |
| １－１．研究開発内容*（研究開発内容を２ページ以内で記入してください。）* |
| （１）目的・意義*（目的・意義について、記入してください。）*（２）実施内容*（実施内容を記入してください。分担機関ごとの実施内容が分かるようにしてください）*（３）目標・期待される成果*（目標、アウトプット成果（本格実施フェーズ終了時、ポスト「京」運用開始５年後）、アウトカム成果（ポスト「京」運用開始５年後、１０年後）を記入してください。）*（４）周辺領域への波及効果、課題全体における計算科学やシミュレーションの位置づけ*（周辺領域への波及効果、当該課題全体における計算科学やシミュレーションの位置づけを記入してください。）*（５）「京」でできていること、ポスト「京」でなければできないこと*（「京」でどこまでできるか（「京」での実績がない場合には、その他のスパコンでの実績でも可）、また、ポスト「京」で初めてできることについて記入してください。*（６）必要計算資源（「京」、ポスト「京」（※）、それ以外の計算資源）（※）ポスト「京」は「京」と比べてアプリケーションの計算速度が百倍程度となることを仮定してください。*（アプリケーション開発実施時に必要な「京」の計算資源量（単位：ノード時間／年）、研究開発実施時に必要なポスト「京」の計算資源量（単位：日）、それ以外の計算資源（単位：ノード時間／年）を算出根拠を含め記入してください。なお、ポスト「京」は「京」と比べてアプリケーションの計算速度が十数～百倍程度となることが見込まれています（参考資料）。**参考資料：総合科学技術・イノベ―ション会議評価専門調査会（第109回）（平成26年11月26日）資料1-2（P.6～7），URL: http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/hyouka/haihu109/haihu-si109.html）*（７）ベースとするアプリケーション*（アプリケーション開発に際し、ベースとするアプリケーションの有無、有の場合はその名称・開発元・ライセンス形態を記入してください。）* |

|  |
| --- |
| １－２．「ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題」に求められる要件との関連性及び適合性*（２ページ以内で記入してください。）**（提案内容について、要件との関連性及び適合性を記入してください。**例：**（１）社会的・国家的見地から高い意義があるか。**（２）世界を先導する成果の創出が期待できるか。**（３）ポスト「京」の戦略的な活用が期待できる課題か。**）* |

|  |
| --- |
| １－３．実施体制*実施体制について、以下が分かるように簡素に記入してください（説明図を添付することが望ましい）。** *成果創出に向けて，計算科学者や理論科学者に加え，計算機科学者，応用数学者，社会科学者，実験・観測科学者，産業界や自治体等の関係者等が連携・協調した開発体制を構築できる見通しがあること。*
* *代表機関，分担機関，協力機関の役割分担が明確かつ妥当であるとともに，課題責任者やサブ課題責任者が事業を推進し，各参画者が目標の達成に寄与する体制となっていること。*
* *本事業を行うための人員・組織体制が整っており，業務管理を適切に遂行できる体制を有していること。*
* *本事業を適切に遂行するための専門的知識，ノウハウ，実績及びポテンシャルを有していること。*
 |

|  |
| --- |
| ２．年次計画*（サブ課題ごとに、年次計画を記入してください。）* |
| サブ課題名（機関・責任者） | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ |
| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| *サブ課題A**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○**（△△△△△△・□□□□□□）* |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| ３－１．所要経費（全体計画）*（事業全体の所要経費を記入してください。）* | （単位：千円） |
| 費目種別 | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ | 計 |
| 大項目 | 中項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 設備備品費  |  |  |  |  |  |
| 試作品費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 業務実施費 | 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 国内旅費 |  |  |  |  |  |
| 外国旅費 |  |  |  |  |  |
| 会議開催費 |  |  |  |  |  |
| 雑役務費 |  |  |  |  |  |
| 電子計算機諸費 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

（※）各項目ごとの金額は千円単位（千円未満は切り捨て）とし、原則として消費税込みで記入して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| ３－２．所要経費（機関ごと）*（代表機関、分担機関ごとに、所要経費を記入してください。）* |  |
| 機関名（代表者） |  | （単位：千円） |
| 費目種別 | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ | 計 |
| 大項目 | 中項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 設備備品費  |  |  |  |  |  |
| 試作品費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 業務実施費 | 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 国内旅費 |  |  |  |  |  |
| 外国旅費 |  |  |  |  |  |
| 会議開催費 |  |  |  |  |  |
| 雑役務費 |  |  |  |  |  |
| 電子計算機諸費 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

（※）各項目ごとの金額は千円単位（千円未満は切り捨て）とし、原則として消費税込みで記入して下さい。

**（様式４）**

実施計画（複数のサブ課題で構成される提案）

|  |
| --- |
| 1. 実施内容
 |
| 萌芽的課題：*（萌芽的課題の番号及び課題名を記入してください。）* |
| 提案課題名：*（提案課題名を記入してください。）* |
| １－１．実施概要*（複数のサブ課題から構成される場合のみ、２ページ以内で記入してください。）*1. 目的・意義

*（研究開発全体の目的・意義について、記入してください。）*（２）研究開発内容*（研究開発内容の概要を記入してください。）*（３）目標・期待される成果*（目標、アウトプット成果（本格実施フェーズ終了時、ポスト「京」運用開始５年後）、アウトカム成果（ポスト「京」運用開始５年後、１０年後）を記入してください。）*（４）周辺領域への波及効果、課題全体における計算科学やシミュレーションの位置づけ*（周辺領域への波及効果、当該課題全体における計算科学やシミュレーションの位置づけを記入してください。）*（５）必要計算資源（「京」、ポスト「京」（※）、それ以外の計算資源）（※）ポスト「京」は「京」と比べてアプリケーションの計算速度が百倍程度となることを仮定してください。*（アプリケーション開発実施時に必要な「京」の計算資源量（単位：ノード時間／年）、研究開発実施時に必要なポスト「京」の計算資源量（単位：日）、それ以外の計算資源（単位：ノード時間／年）を算出根拠を含め記入してください。なお、ポスト「京」は「京」と比べてアプリケーションの計算速度が十数～百倍程度となることが見込まれています（参考資料）。**参考資料：総合科学技術・イノベ―ション会議評価専門調査会（第109回）（平成26年11月26日）資料1-2（P.6～7），URL: http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/hyouka/haihu109/haihu-si109.html）* |

|  |
| --- |
| １－２．研究開発内容詳細*（研究開発内容をサブ課題ごとに２ページ以内で記入してください。）* |
| サブ課題：*（サブ課題の名称を記入してください。）* |
| （１）目的・意義*（目的・意義について、記入してください。）*（２）実施内容*（実施内容を記入してください。分担機関ごとの実施内容が分かるようにしてください）*（３）目標・期待される成果*（目標、アウトプット成果（本格実施フェーズ終了時、ポスト「京」運用開始５年後）、アウトカム成果（ポスト「京」運用開始５年後、１０年後）を記入してください。）*（４）「京」でできていること、ポスト「京」でなければできないこと*（「京」でどこまでできるか（「京」での実績がない場合には、その他のスパコンでの実績でも可）、また、ポスト「京」で初めてできることについて記入してください。*（５）必要計算資源（「京」、ポスト「京」（※）、それ以外の計算資源）（※）ポスト「京」は「京」と比べてアプリケーションの計算速度が百倍程度となることを仮定してください。*（アプリケーション開発実施時に必要な「京」の計算資源量（単位：ノード時間／年）、研究開発実施時に必要なポスト「京」の計算資源量（単位：日）、それ以外の計算資源（単位：ノード時間／年）を算出根拠を含め記入してください。なお、ポスト「京」は「京」と比べてアプリケーションの計算速度が十数～百倍程度となることが見込まれています（参考資料）。**参考資料：総合科学技術・イノベ―ション会議評価専門調査会（第109回）（平成26年11月26日）資料1-2（P.6～7），URL: http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/hyouka/haihu109/haihu-si109.html）*（６）ベースとするアプリケーション*（アプリケーション開発に際し、ベースとするアプリケーションの有無、有の場合はその名称・開発元・ライセンス形態を記入してください。）* |

|  |
| --- |
| １－３．「ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題」に求められる要件との関連性及び適合性*（２ページ以内で記入してください。）* |
| *（提案内容について、要件との関連性及び適合性を記入してください。**例：**（１）社会的・国家的見地から高い意義があるか。**（２）世界を先導する成果の創出が期待できるか。**（３）ポスト「京」の戦略的な活用が期待できる課題か。**）* |

|  |
| --- |
| １－４．実施体制*実施体制について、以下が分かるように簡素に記入してください（説明図を添付することが望ましい）。** *成果創出に向けて，計算科学者や理論科学者に加え，計算機科学者，応用数学者，社会科学者，実験・観測科学者，産業界や自治体等の関係者等が連携・協調した開発体制を構築できる見通しがあること。*
* *代表機関，分担機関，協力機関の役割分担が明確かつ妥当であるとともに，課題責任者やサブ課題責任者が事業を推進し，各参画者が目標の達成に寄与する体制となっていること。*
* *本事業を行うための人員・組織体制が整っており，業務管理を適切に遂行できる体制を有していること。*
* *本事業を適切に遂行するための専門的知識，ノウハウ，実績及びポテンシャルを有していること。*
 |

|  |
| --- |
| ２．年次計画*（サブ課題ごとに、年次計画を記入してください。）* |
| サブ課題名（分担機関・責任者） | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ |
| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| *サブ課題A**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○**（△△△△△△・□□□□□□）* |  |  |  |  |
| *サブ課題B**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○**（△△△△△△・□□□□□□）* |  |  |  |  |
| *サブ課題C**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○**（△△△△△△・□□□□□□）* |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| ３－１．所要経費（全体計画）*（事業全体の所要経費を記入してください。）* | （単位：千円） |
| 費目種別 | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ | 計 |
| 大項目 | 中項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 設備備品費  |  |  |  |  |  |
| 試作品費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 業務実施費 | 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 国内旅費 |  |  |  |  |  |
| 外国旅費 |  |  |  |  |  |
| 会議開催費 |  |  |  |  |  |
| 雑役務費 |  |  |  |  |  |
| 電子計算機諸費 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

（※）各項目ごとの金額は千円単位（千円未満は切り捨て）とし、原則として消費税込みで記入して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| ３－２．所要経費（機関ごと）*（代表機関、分担機関ごとに、所要経費を記入してください。）* |  |
| 機関名（代表者） |  | （単位：千円） |
| 費目種別 | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ | 計 |
| 大項目 | 中項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 設備備品費  |  |  |  |  |  |
| 試作品費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 業務実施費 | 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 国内旅費 |  |  |  |  |  |
| 外国旅費 |  |  |  |  |  |
| 会議開催費 |  |  |  |  |  |
| 雑役務費 |  |  |  |  |  |
| 電子計算機諸費 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

（※）各項目ごとの金額は千円単位（千円未満は切り捨て）とし、原則として消費税込みで記入して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| ３－３．所要経費（サブ課題ごと）*（サブ課題ごとに、所要経費を記入してください。）* | （単位：千円） |
| サブ課題 | 大項目 | 調査研究・準備研究フェーズ | 本格実施フェーズ | 計 |
| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| *サブ課題A**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○* | 設備備品費 |  |  |  |  |  |
| 試作品費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 業務実施費 |  |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |
| *サブ課題B**○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○* | 設備備品費 |  |  |  |  |  |
| 試作品費 |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |
| 業務実施費 |  |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

（※）各項目ごとの金額は千円単位（千円未満は切り捨て）とし、原則として消費税込みで記入して下さい。

**（様式５）***（研究代表者、サブ課題責任者、サブ課題実施者ごとに２ページ程度で作成してください。）*

研究者情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏名 |  |  生年月日 |  西暦　　　　年　　月　　日（　　歳） ＊2016年4月1日現在 |
|  所属機関 ・組織 | 所在地 | 〒Tel.　　　　　　　　　　　　　　　　 Fax. E-mail:  |
| 所属部署 |  |   |  |
|  研究歴 | 最終学歴 |  　昭和　　年　　　大学　　学部卒業 |
| 学位 |  昭和　　年　博士号（　　学）取得（　　大学） |
| 主な職歴と研究内容 | *（記述例）**昭和○○年～○○年　○○大学○○学部助手**○○○○○について研究**昭和○○年～○○年　○○大学○○学部　研究員**○○○○○○○に関する研究に従事**昭和○○年～○○年　○○大学○○学部教授**○○○○○について研究* |
| １年間の全研究時間数 |  平均　毎月　　　時間×　　ヶ月 |
| 他制度での助成等の有無（申請中も含む）※ 各制度の事業等に割り当てる研究時間割合(%)(年間全仕事時間を100%とした際の当該研究に割く時間配分率) | 本事業 | *（「ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発」について）**・従事期間、見込み経費額* | 　　％ |
| 各省の競争的資金 | *（科学研究費補助金、厚生科学研究費補助金）**・制度名、研究期間、助成金額、課題名**・本事業との仕訳、関連性* | 　　％ |
|
| 独立行政法人等による競争的資金 | *（日本学術振興機構、NEDO、農業・生物系特定産業技術研究機構、医薬品機構、情報通信研究機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、JST）**・制度名、研究期間、助成金額、課題名、**・本事業との仕訳、関連性* | 　　％ |
| 公募型の外部資金 |  *（研究者が公募による競争的な環境から獲得することができる外部資金のうち、年間1,000 万円以上の研究助成を受ける場合について）**・制度名、研究期間、助成金額、課題名**・本事業との仕訳、関連性* | 　　％ |
| その他の外部資金 | *（上記の他、外部資金による研究開発等のうち、年間1,000万円以上の事業規模のもの）**・制度名、研究期間、研究金額、課題名**・本事業との仕訳、関連性* | 　　％ |
| 経常的研究 等 | *（研究内容等）* | 　　％ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 論文・著書等 | 論文 | *主な論文（５編以内）のリスト。**タイトル、著者名、著書名、出版社、最初と最後の頁、発表年（西暦）を記入してください。* |
| 著書 | *主な著書（５冊以内）のリスト。**タイトル、著者名、著書名、出版社、最初と最後の頁、発表年（西暦）を記入してください。* |
| 学協会誌等 | *主な学協会誌等（５冊以内）のリスト。**タイトル、著者名、学協会誌等名、巻（号）、最初と最後の頁、発表年（西暦）を記入してください。* |
| 知的財産 | 特許 | *取得済の国内・国外特許件数を記入してください（出願中の件数は内数として括弧内に記入してください）。**国内特許：○件（○件）**国外特許：○件（○件）**また、主要な特許について、特許名、特許番号、取得または出願年月日を記入してください（出願・広告等の日付,「発明の名称」,発明者氏名,出願人名,国名、特許等の番号・種類の順）。* |
| その他知的財産 | *その他、取得済の知的財産があれば、ご記入ください。* |
| 受賞暦・表彰暦 | *主要なもの（５件以内）について、年月日、受賞名等を記述してください。**（受賞者名：「件名」,受賞等年月日等の順）* |
| 研究実績等 | *関連した分野における研究開発プロジェクトへの参画実績及びその成果を記述して下さい。* |

*※既に応募している競争的資金制度のみならず、現在、応募しようとしている競争的資金制度についても、幅広く記述してください（「応募中」、「申請中」の場合にはその旨を記述してください）。*

**（様式６）**

用語の説明書

*本提案書類で記載している専門用語及び略語のうち、特に必要と思われるものについて、簡単な解説を記載してください。なお、用語の説明書はより的確な審査を目的としたもので提出を義務付けるものではありません。（記載形式は自由です。）*

**（様式７）***（分担機関がある場合に、分担機関ごとに作成してください）*

平成２８年　　月　　日

承　　　　諾　　　　書

*（代表機関の研究代表者の所属機関名・職名）*

*（代表機関の研究代表者の氏名）*　殿

*（分担機関の機関名・所属長の職名）*

*（所属長の氏名）*　　　　　　公印

 「ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発」に関する募集に対し、当機関（研究所）の職員が、下記により応募することを承諾いたします。

記

１．萌芽的課題名：*萌芽的課題名*

*代表機関の提案課題名*

*（分担機関のサブ課題名）*

２．研究者氏名：　*（氏名のみ記載）*

*（※）*

* *所属機関長の氏名・職印は、学部長、附属研究所等の部局の長が承諾書に関する権限を委任されている場合は、これらの部局長の氏名・職印で差し支えありません。*
* *同一の萌芽的課題について、同一の分担機関から複数のサブ課題責任者が複数で参加しようとする場合は、「２．研究者氏名」に連記して差し支えありません。*

**（様式８）**

誓　　　約　　　書

私及び当団体は、下記１及び２のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

　この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

　また、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

１．契約の相手方として不適切な者

（１）法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

（２）役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

（３）役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

（４）役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

（５）役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

２．契約の相手方として不適当な行為をする者

（１）暴力的な要求行為をする者

（２）法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

（３）取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

（４）偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者

（５）その他前各号に準ずる行為を行う者

「ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発」

　　　　年　　月　　日

*住所（又は所在地）*

*団体名及び代表者名*

*署名（自署）*

*※個人の場合は生年月日を記載すること。*

*※法人の場合は役員の氏名及び生年月日が明らかとなる資料を添付すること。*

**（別添）**

提案書類チェックシート

提案書類について、欠落がないかチェックの上、本状も提出願います。本チェックシートは、応募１件につき１枚作成してください。なお、提出方法は、募集要項の「Ⅱ．実施方法」をご参照ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 萌芽的課題 | *（課題番号と課題名を記入してください）* |
| 提案課題名 | *（提案課題名を記入してください）* |
| 提案形態※１ | * + - * ひとつのサブ課題から構成
 | * + - * 複数のサブ課題から構成
 |

※１　全体提案、部分提案のいずれかにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | 提案書類 | 提出要否※２ | 備考 |
| ひとつのサブ課題 | 複数のサブ課題 |
| □ | 様式１ | 提案書 | ○ | ― | ひとつのサブ課題から構成される場合に作成 |
| □ | 様式１－別紙１ | 提案書別紙１ | ○ | ― | 分担機関ごとに記入 |
| □ | 様式１－別紙２ | 提案書別紙２ | △ | ― | 協力機関がある場合に作成 |
| □ | 様式２ | 提案書 | ― | ○ | 複数のサブ課題から構成される場合に作成 |
| □ | 様式２－別紙１ | 提案書別紙１ | ― | ○ | サブ課題ごとに記入 |
| □ | 様式２－別紙２ | 提案書別紙２ | ― | △ | 分担機関ごとに記入 |
| □ | 様式２－別紙３ | 提案書別紙３ | ― | △ | 協力機関がある場合に作成 |
| □ | 様式３ | 実施計画 | ○ | ― | ひとつのサブ課題から構成される場合に作成 |
| □ | 様式４ | 実施計画 | ― | ○ | 複数のサブ課題から構成される場合に作成 |
| □ | 様式５ | 研究者情報 | ○ | ○ | 研究代表者、サブ課題責任者、サブ課題実施者ごとに作成 |
| □ | 様式６ | 用語の説明書 | △ | △ |  |
| □ | 様式７ | 承諾書 | △ | △ | 分担機関がある場合に作成 |
| □ | 様式８ | 誓約書 | △ | △ |  |
| □ | 提案チェックシート | ○ | ○ |  |

※２　提出要否欄の凡例は以下のとおり。

○：提出が必要　　　　△：必要に応じて提出　　　　―：提出不要